

令和4年度 学校運営連絡協議会報告書

1 組織

(1) 東京都立田園調布高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 事務局の構成 総務部主任（事務局長） 総務部員（3名） 計4名

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、教務部主任、生活指導主任、進路指導部主任、総務部主任

計7名

(4) 協議委員の構成

近隣警察署職員、学識経験者2名、近隣小学校長、近隣中学校長、近隣特別出張所長、近隣自治会長、本校同窓会会長 P T A会長 計9名

2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会の開催日時、会場、出席者、内容、その他

第1回

日時:令和4年6月22日(水) 場所:本校小会議室、出席者:内部委員7名、協議委員7名

内容:校長挨拶、協議委員委嘱、委員紹介、内部委員及び評価委員の紹介、学校経営計画について、各分掌からの本校の現状と課題についての報告、意見交換、協議委員からの提言、事務連絡

第2回

日時:令和4年11月18日(金) 場所:本校小会議室、出席者:内部委員7名、協議委員7名

内容:校長挨拶、各分掌からの本校の現状と課題についての報告、学校評価アンケートについて、意見交換、協議委員からの提言、事務連絡

第3回

日時:令和5年2月10日(金) 場所:本校小会議室、出席者:内部委員7名、協議委員6名

内容:校長挨拶、各分掌からの本校の現状と課題についての報告、学校評価アンケート結果について、意見交換、協議委員からの提言、事務連絡

3 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

- ・本校の学校経営計画に基づく教育活動に対する満足度、理解度および情報発信の結果について把握する。
- ・生徒、保護者、教員に対する設問項目から、三者の意識の相違を通して教育活動の課題を把握する。
- ・意見欄の設定により意見を具体的に把握する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

① 実施時期 (12月下旬)

生徒全員 : 回収数 680名/696名 (回収率 98% R3:81%)

保護者 : 回収数 317名/698名 (回収率 45% R3:45%)

教員 : 回収数 23名/45名 (回収率 51% R3:71%)

② 評価項目

学校経営計画の実現に向けた取り組みが明確になるように質問内容を精選した。アンケート項目は、生徒・保護者については19項目を、教員に対しては21項目を設定した。19項目については【学習指導】3項目、【進路指導】3項目、【生活指導・特別活動】7項目【教育環境、校内美化等】3項目【情報公開】1項目【学校満足度】2項目とした。選択肢については、「そう思う」「ややそう思う」「あまりそう思わない」「思わない」の4項目である。肯定的な意見は「そう思う」「ややそう思う」の合わせた数とした。

(3) 評価結果の概要

① 生徒・保護者・教員の比較

設問1 【学習指導】学校は、生徒の進路希望実現に必要な学力を育む授業を行っている。

生徒の84% (R3:75% R2:75%) 保護者85% (R3:83% R2:70%) 教員の91% (R3:100% R2:80%) が肯定的評価をした。

設問2 【学習指導】学校は、生徒が授業内容を十分に理解するよう指導している。

生徒の83% (R3:79% R2:75%) 保護者の76% (R3:78% R2:66%) 教員の100% (R3:94% R2:92%) が肯定的評価をした。

設問3 【学習指導】学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法や小テスト、自宅学習課題、週末課題等を工夫している。

生徒の83% (R3:78%) 保護者の76% (R3:81%)、教員の91% (R3:94%) が肯定的評価をした。

設問4 【進路指導】学校は、進路学習(夏季集中型学力向上講習、土曜講習等)の充実に努めている。

生徒の86% (R3:78% R2:78%) 保護者の80% (R3:79% R2:78%) 教員の96% (R3:94% R2:84%) が肯定的評価をした。

設問5 【進路指導】学校は、進路説明会の実施等を通して、生徒が自分の進路について主体的に考えられるよう指導している。

生徒の85% (R3:82% R2:80%) 保護者の88% (R3:83% R2:80%) 教員の91% (R3:94% R2:80%) が肯定的評価をした。

設問6 【進路指導】学校は、進路指導部だよりや各種資料の提示を通して、進路情報の提供に努めている。

生徒の84% (R3:79% R2:80%) 保護者の80% (R3:79% R2:70%) 教員の96% (R3:78% R2:84%) が肯定的評価をした。

設問7 【生活指導・特別活動】生徒は、本校の生活信条「誠実・敬愛・自主・自律」を実施している。

生徒の77% (R3:74% R2:74%) 保護者の80% (R3:80% R2:79%) 教員の52% (R3:99% R2:68%) が肯定的評価をした。

設問8 【生活指導・特別活動】学校は、体罰・暴言のない教育活動を行っている。

生徒の92% (R3:84% R2:88%) 保護者の92% (R3:94% R2:99%) 教員の100% (R3:97% R2:96%) が肯定的評価をした。

設問9 【生活指導・特別活動】学校は、年間3回の生徒アンケート実施等を通して、いじめの早期発見・未然防止に取り組んでいる。

生徒の88% (R3:82% R2:83%) 保護者の89% (R3:87% R2:83%) 教員100% (R3:97% R2:96%) が肯定的評価をした。

設問10 【生活指導・特別活動】学校行事(体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭)は充実している。

生徒の85% (R3:74%) 保護者の82% (R3:81%)、教員91% (R3:81%) が肯定的評価をした。

設問11 【生活指導・特別活動】部活動は充実している。

生徒の80% (R3:74% R2:69%) 保護者の75% (R3:67% R2:64%) 教員の70% (R3:69% R2:64%) が肯定的評価をした。

設問12 【生活指導・特別活動】教員や養護教諭、スクールカウンセラーによる悩み相談等、学校の相談機能は充実している。

生徒の89% (R3:78% R2:83%) 保護者の83% (R3:81% R2:78%) 教員の100% (R3:94% R2:92%) が肯定的評価をした。

設問13 【生活指導・特別活動】学校は、感染症対策下にあっても、必要な非常災害時の対応について指導している。

生徒の86% (R3:76% R2:78%) 保護者の88% (R3:86% R2:85%) 教員の91% (R3:90% R2:92%) が肯定的評価をした。

設問 14 【教育環境、校内美化等】学校の施設・設備は充実している。

生徒の 52% (R3:53% R2:38%) 保護者の 47% (R3:46% R2:38%) 教員の 17% (R3:64% R2:12%) が肯定的評価をした。

設問 15 【教育環境、校内美化等】生徒は校内美化に努めている。

生徒の 63% (R3:64% R2:48%) 保護者の 69% (R3:67% R2:66%) 教員の 57% (R3:64% R2:56%) が肯定的評価をした。

設問 16 【教育環境、校内美化等】学校図書館(図書室)の蔵書・設備は充実している。

生徒の 89% (R3:80% R2:93%) 保護者は 84% (R3:83% R2:73%) 教員の 96% (R3:88% R2:84%) が肯定的評価をした。

設問 17 【情報公開】学校は、ホームページや授業公開週間を通して、教育活動の様子を保護者や地域に積極的に公開している。

生徒の 85% (R3:75% R2:75%) 保護者は 87% (R3:75% R2:76%) 教員の 96% (R3:75% R2:84%) が肯定的評価をした。

設問 18 【学校満足度】生徒は、本校に入学して満足している。

生徒の 84% (R3:77% R2:84%) 保護者の 87% (R3:85% R2:88%) 教員の 91% (R3:97% R2:100%) が肯定的評価をした。

設問 19 【学校満足度】田園調布高校への入学を、親しい人に勧められる。

生徒の 77% (R3:74% R2:21%) 保護者の 85% (R3:81% R2:27%) 教員の 72% (R3:76% R2:28%) が肯定的評価をした。

設問 20 【教育環境、校内美化等】教職員は、計画的かつ合理的な仕事の進め方により、業務の効率化を図っている。【教員のみ】 教員の 39% (R3:61% R2:32%) が肯定的評価をした。

設問 21 【教育環境、校内美化等】教職員は、会議の上限時間を設ける等、勤務時間の縮減を図っている。

【教員のみ】 教員の 39% (R3:45%) が肯定的評価をした。

(4) 評価結果の分析・考察

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めながらも、3 学年保護者に公開にして実施した体育祭や、制限はあったものの公開して実施できた文化祭、合唱祭と、教育活動の幅が広がった 1 年間であった。感染防止に努め、「学び」と「行事」を存続していく状況でのアンケート結果である。

① 【学習指導】について

本校は東京都教育委員会から進学指導研究校に指定され、9 割以上の生徒が進学を希望する 4 年制大学入学に必要な学力や、高大接続改革で求められる知識・技能及び思考力、判断力、表現力を育む授業を推進している。

学習指導については、教員側と生徒側の意識に大きな差がみられた昨年度に比べて、今年度は、教員が授業を工夫し、学力向上に努めているという肯定的な評価と生徒の肯定的評価の差が縮まった。

設問 1 【学習指導】学校は、生徒の進路希望実現に必要な学力を育む授業では、令和 3 年度の差が 25% から 7% になっている。設問 3 【学習指導】学校は、生徒の学力を定着・向上させるため、指導方法や小テスト、自宅学習課題、週末課題等の工夫では、令和 3 年度の差が 16% から 8% になっている。教員側の授業に臨む思いが生徒に十分に伝わっていなかった昨年度に比べて、生徒に教員側の授業に臨む思いが伝わり始めたといえる。次年度も、引き続き、生徒にとって、わかる授業や学力の向上を実感できる授業を推進するために、生徒の学習状況を十分に捉え、指導方法を工夫するなど授業力向上を図っていく。生徒にとってやる気・効率ともに充実した自主学習となるよう、教科間での連携による週末課題や自宅学習課題についての工夫も重ね実践する。生徒自身も授業や週末課題等への取組状況、学力テストに臨む態度等に対する自己評価を行う必要がある。宿題によって学習習慣が形成される生徒が多いため、教科が工夫をしながら、自学自習の習慣を身に付けさせる取組みを次年度も継続していく。授業そのものは概ね静かであるが、板書されたことを書き写すだけの受け身の姿勢の生徒もいる。また、一部授業に集中できない生徒もいる。生徒の主体的な姿勢や自学自習への取組は今後、大きく期待されることである。教員と生徒が授業の目標設定に対する共通理解を図り、ともによりよい授業を創り上げていくこと

が今後さらに重要となる。

本校の場合は、各科目とも学力について多様化がみられ、習熟の程度が異なる。アドバンストクラスと他クラスでは、カリキュラムは同様であるが、学習の目標設定、難易度、進度の設定が異なる場合が多い。また、生徒には教科により得手、不得手があり、バランスの取れた学力形成が必要である。

②【進路指導】について

設問 5 で、生徒の 85% (R3:82%) の生徒が、主体的に進路について考えることができるよう指導されていると答えている。教員の 91% (R3:94%) が肯定的評価と評価に 6% (R3:12%) であり、生徒と教員の意識の開きが縮まっている。キャリアガイダンスや面談週間をさらに充実させ、進路意識の向上につとめ、さらに生徒のニーズに沿った進路情報の提供の仕方をより工夫していくこととする。また、教員間では情報共有をさらに深め、希望大学別講習等個に応じた指導を深めたい。それとともに、生徒自身が主体的な進路情報収集を行う姿勢を養うことも重要であり、その両面から進路指導について考えていくべきである。学年毎の進路通信の発日より教育を実践していく。また、模試に関しても、事前指導や事後指導に力を入れている。

本校では「田高進路プロジェクト」を中心に充実した進路指導を進めており、進学実績等から保護者・地域においても近年評価されていることが数値に表れている。今後も生徒・保護者への進路情報の提供についてはさらに工夫していく必要がある。生徒・保護者の要望を十分把握し、分掌と学年が連携をとり具体的な進路情報の提供を行っていく必要がある。

③【生活指導・特別活動】について

設問 8「学校は、体罰・暴言のない教育活動を行っている」について、肯定的評価をした生徒の 92% (R3:84%) 教員の 100% (R3:97%) であった。肯定的な回答は、教員が 3% 増加し、生徒が 8% 増加した。対面の授業となり、他の生徒と接する機会が多くなっても、生徒が肯定的な評価をしているのは、学校が「安心で安全」である場所であると生徒が実感しているといえる。今後も、教員は、さらに生徒への言葉かけにも最善の注意を払い、教員と生徒間での温かな人間関係を構築していきたい。今後も体罰のない教育活動を行っていく。

設問 10 学校行事(体育祭、ぼろにあ祭、合唱祭)は充実しているとの肯定的な評価が昨年度に比べて、生徒 11%、保護者 1%、教員 10%、肯定的評価が高くなっている。学校評価は 12 月に実施しており、合唱祭の実施前であった。合唱祭後の学校評価では、さらに肯定的な評価の度合いが高くなると推測できる。次年度は、さらに、運営上の制限が緩和され、生徒が存分に持てる力を発揮できるであろう。

④【教育環境、校内美化等】について

設問 16 学校図書館(図書室)の蔵書・設備は充実については、生徒、保護者、教員共に高く評価している。

学校図書館が言語活動の充実大きく貢献していると言える。

設問 20. 21 学校は計画的な仕事の進め方により、教職員の業務の効率化を図り、教職員一人一人のライフ・ワーク・バランスの実現を推進している。解説:ライフ・ワーク・バランス(生活と仕事の調和)とは、東京都の方策として、「国民一人一人がやりがいや充実感をもちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること。」をいう。【教員のみ】 教員の 39% (R3:61%) が肯定的な回答をしている。昨年度に比べて回答 22% 下がっており、教員がさらに多忙となっている。日々の業務が縮減され、ライフ・ワーク・ワークバランスが改善されることが急務である。その結果、教員が日々自己研鑽に励めるようになり、教育の質向上へとつながっていく。

⑤【情報公開】について

設問 17【情報公開】生徒の 85% (R3:75%) 保護者は 85% (R3:75%) 教員の 91% (R3:75%) が肯定的評価をしている。より新しい情報を掲載するホームページの更新回数増加や、「学年便り」「学級便り」の定期的な発行を通して、保護者等に確実に情報が届くようさらに工夫していく。

⑥【学校満足度】について

設問 19 田園調布高校への入学を、親しい人に勧められると、生徒の 77% (R3:74%) 保護者の 87% (R3:81%) 教員の 72% (R3:76%) が肯定的評価をしている。昨年度より肯定的な回答が増加したことは大変嬉しいことである。本校生徒、教員が、本校に誇りを持って通えるように、学校生活の充実に努めていく。